

さいきんの農薬の発達 はめざましく、一般家庭の草花から、ヘリコプターによる広範囲な共同防除まで、あらゆるところで使われています。これらの農薬は病害虫を防ぎ雑草を取り除くなど、農家の労力をはぶき、収穫を多くするためになくてはならないものです。

事故です。恐しい農薬事故を防ぐために次のことに十分注意してください。

▼特定毒物(ポリドール、テップなど)は、個人で持つことも使うこともできません。農協などの指示で防除作業をしましょう。

▼体の調子の悪いときや睡眠不足のとき、手足に傷があるときは散布作業をしないようにしましょう。

▼散布作業は危険です。二人以上で行ないましょう。一人で作業をしていて農薬中毒になり、発見がおくれたため死亡した例もあります。

▼農薬の調子の悪いときや睡眠不足のとき、手足に傷があるときは散布作業をしないようにしましょう。

農薬による 取扱いや 保管箱は 慎重に…… 事故を防ぐ

この有益な農薬も 一歩使用をやめると恐しい「凶器」になってしまう。

毎年、いまごろになると、医薬品のビンに入れてあった農薬をまちがえてのんでしまった。家の中に置きわすれたのを老人や子どもが持ち出して自殺したというような事故が各地で起きます。こうした事故は、農薬を使う人の自覚が足りないために起る。

劇薬に該当する農薬を買う場合は、印鑑を持って正しい手続きをしましょう。

▼農薬を散布する前に、その農薬の説明書をよく読んでから使いまししょう。

▼毒性の低い農薬でもヒョウから体内に入るものもありますから、素手で取



着々進む東名道路工事—伝法中折で—

東名高速道路 吉原1 清水間 42年の完成めざし建設進む

東京—名古屋を三時間半で結ぶ夢のハイウェイ「東名高速道路」の建設が、四十四年の全線開通をめざして、急ピッチで進められています。

東名高速道路は、東京世田谷から愛知県小牧市までの総延長三六四キロメートルを結ぶ路線で、インターチェンジは二カ所です。建設工事は昭和三十七年由比海岸線をスタートし、昨年より東京—厚木、吉原—清水、小牧—岡崎間が本格的にはじめられました。とくに吉原—インターチェンジ(伝法)清水間は、現在の国道がせまく、自動車交通が窮屈な区間なので、四十二年度末には完成させることになっています。

東名高速道路の市内の通過路線は、山ろく丘りよう地帯の船津—江尾—富士岡—駿河台—伝法町—片宿をとる延長一〇キロメートルです。インターチェンジは伝法町にトランペット型のものが南北に長くつづられ、大月線、田子の浦臨港線に接続されます。



学校などへ配布された白ばら

町中を「白ばら」に 学校、町内会へ苗木を配布

明るく正しい選挙のシンボル「白ばら」の苗木六百本余りがこのほど吉原市選挙管理委員会、明るく正しい選挙推進協議会から町内会、花の会、学校などに配布されました。これは市民に白ばらの純粋な心を、いつまでももちつづけ、白ばらをおして明るく正しい選挙を実現してもらうために配布したものです。また、同委員会では、「白ばらコンクール」を明春(四、五月)次のおり行なう予定です。

▼育成者心得 ①露地栽培 ②コンクールに出品するコンクールの内容

①コンクールの日 ②明春四、五月ごろ ③場所 ④市民会館 ⑤出品方法 ⑥花は茎を二〇センチぐらいつけて切り、切り口には水を含んだ綿をまき、乾燥しないようにビニールで包む

おしらせ

腸パラの 予防接種

衛生課では、腸パラチフスの予防接種を次のとおり行ないます。

◇該当者 昭和三十七年四月一日から昭和三十八年四月一日までに生れた子ども(三回接種)と昭和三十七年三月三十一日

六月九日(十六日、二十三日) 大淵第一小学校

六月六日(十三日、二十三日) 東小学校・橋幼稚園。六月七日(十四日、二十一日) 吉永支所・原田支所。六月八日(十五日、二十一日) 元吉原幼稚園・鈴川公会堂。

六月九日(十六日、二十三日) 大淵第一小学校

行政相談所へ

行政相談所を毎月三回開設しますので、行政への苦情、不満をおもちの方はおいでください。

▼とき 第一・第三月曜日(6月は6日と20日) 午前9時—12時

▼ところ 市長公室

▼担当 今泉春枝行政相談委員

※相談日以外の日でも、市の連絡委員が相談に応じます。

・今泉さんの住所 吉原市市場町②〇二七二

・行政相談の窓口 市長公室広報係

ご注意

衛生課員と名のる押売りに

さいきん「市の衛生課ですが、こんど古いゴミ箱は廃止して、市内全部ポリバケツにすることにになりました」といってポリバケツに似た鉄板製のゴミ容器を押し売りにしているものがありますが、衛生課ではこのようなゴミ容器はあつせんしていませんから注意してください。

不審なことがありましたら市衛生課へお問い合わせください。

地元の労力奉仕 中野町2丁目 急坂舗装

土砂の流れやすい坂道を舗装しようと、大久保町、中野町二丁目では市とタイアップして、ごほご道をみごとな舗装道路に写真ししています。これは、地元が労力を提供し、市が生コンなど資材を出してつくっているもので、大久保町は幅員四メートルの道路を一一〇メートル、中野町は幅員五メートルの道路を一八〇メートル舗装しました。なお大淵町一丁目でも地元の要望で、ちかく舗装工事を進めています。

市民会館 だより

◇書展(毛筆、ペン) 六月三日—五日。午前九時から。第一、第二集会所。

◇危険物取り扱い担任者予備講習会 六月六日。午前九時から。第一集会所。

◇吉原市美術協会展 六月十日—十二日。午前九時から午後八時まで。第一集会所。

◇労働六月例会 六月十日。午後六時三十分から大ホール。

市役所

市民会館は、小沢健夫館長以下十七名の職員が、業務係、施設係、庶務係に分かれ、会館の事務、運営を行なっています。

業務係は、会館の使用申し込み受け付けと使用許可、および使用料の徴収を行なっています。

施設係は、会館利用者のため照明、放送、冷暖房操作、機械の設備、また結婚式の運営や会場の清掃、設営を行なっています。



写真は、市民劇場、の一コマ

室Bまでの五つの集会所と和室が一室あります。合理的な設備と快適な雰囲気は、会議や講演会、展示会、演劇音楽、結婚式など集会所の場として、市民みなさんに親しまれ、利用されています。

昨年の使用件数は二〇九〇件、入場者数は二二五三七〇人。利用率は研究講習会が三三%でもっとも多く、結婚式が二一・四%、会議が一六・四%、懇談会が一〇・五%、その他展示会が四・二%、演奏会が二・七%となっています。

庶務係は、一般事務関係の仕事をしていきます。

市民会館で力をいれているものに「市民劇場」があります。市民劇場は会館内に事務局を置き、現在会員は九〇〇人で、年四回例会を開き、演芸、音楽を觀賞してもらい、市民の文化生活を高めています。

また、市民会館には運営審議会を置き、より多くの方々に「集いの場」として活用していただくために運営と育成を研究しています。

年金コーナー

前号では強制加入についてお知らせしましたが、この号は、強制加入から除外されるひとをみてみましょう。

①被用者年金各法(2月20日号の厚生年金保険法など)の被保険者または組合員と、その配偶者

②都道府県、市町村の議会議員と配偶者

③被用者年金各法および他の公約年金制度による老令、退職、廃疾、死亡の年金給付の受給者とその配偶者

④被用者年金各法および他の公約年金制度による老令、退職の年金給付の受給者とその配偶者

⑤戦傷病者戦没者遺族など保護法による障害年金の受給者とその配偶者、ならびに遺族年金遺族給付金を受ける人

⑥未帰還者留守家族など保護法による留守家族手当および特別手当の受給者

⑦学校教育法による全日制の高等学校の生徒と大学の学生

⑧明治44年3月31日以前に生まれた人

訂正:

第九二号の二面々七月着工の記事中に誤りがありましたので訂正しておわびします。

大淵第一小学校にプールは神戸小学校に、神戸小学校に体育館は吉永第二小学校にそれぞれ訂正します。(広報係)